

平成28年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業  
(系統性のある支援研究事業)  
成果報告書 (概要版)

実施機関名 (甲賀市教育委員会)

## 1. テーマ

高校への継続した支援の引継ぎを目指して、個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムを活用し、引継ぎシステムの構築を目指す。

## 2. 問題意識・提案背景

甲賀市では、障害のある人と共に生きる地域づくりを目指し、様々なライフステージを通じ、豊かな発達や自立のための支援を適切につなぐ仕組みを進めている。各小中学校では、特別な支援が必要な児童生徒に対して、個別の指導計画等をたて指導・支援を行ってきているが、必要な支援の情報がつながらずに、中学校での作成が途絶えてしまうことが、課題としてあげられる。また、中学校から進学先への引継ぎでは、保護者の同意が得られないケースがあったり、入試直前になり、本人の教育的ニーズに応じた配慮や支援について、中学校で十分検討や実践がなされていないかあったりするケースが生じている。このようなことから、平成27年度の事業で、必要な支援の内容を適切に高校へ引継ぐことを目的とし、個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムの作成及び個別の指導計画の引継ぎ実施の体制整備にも取り組んだ。平成27年度は、①個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムの完成、②各校種間の情報を共有することにより、個別の指導計画等の作成や引継ぎ体制の見直し、③個別の指導計画の作成とその引継ぎについての研修をとおし、「甲賀地域の中学校卒業生にかかる個別の支援情報の引継ぎ会」の充実を図るという成果を得ることができた。しかし、個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムを使い、保護者と協働して個別の指導計画を作成するという点においては、検証がまだ不十分であり、作成を重ねる中で、個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムの修正、変更を行い、高校への引継ぎシステムの構築をより確かなものにする必要がある。

## 3. 目的・目標

障害のある人も安心して暮らしていけるまちづくり、障害のある人と共に生きる地域づくりを進めるためには、学齢期はもちろん中学校卒業後も支援が継続して行われるような仕組みが必要であり、その構築にむけての取組を進めることを目的とする。目的達成のために、中学校から必要な支援の内容を適切に高校へ引継ぐことを目指した個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムを活用し、個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成し、必要な情報を高校へ引継いでいくこと、更に、保護者と共に個別の指導計画を作成し、高校に引継ぐことを目標とする。目標達成のために、開発した個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムを活用し、中学校における個

別の指導計画等の作成課題を克服し、適切な情報や支援の方法を高校へ引き継ぐ。また、中学校から継続した指導・支援について高校においても、適切な支援ができるように検討を進める。更に、中学校から高校へ円滑に引継ぎが行われるよう、引継ぎカレンダーを作成する。

#### 4. 主な成果

##### (1) 個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムの活用

個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムの活用の時期と方法について、前在籍校で取組、有効性について検証することができた。更に、より持続的な引継ぎプログラムになるよう、新たに個別の教育支援移行計画を開発し、システムに挿入することができた。

##### (2) 進学前後における適切な引継ぎについて

3月開催の「甲賀地域の中学校卒業生にかかる個別の支援情報の引継ぎ会」への保護者同意が得られるよう中学校での個別の教育支援計画の引継ぎと活用について整理した。平成28年度は、引継ぎ事例数、引継ぎ先校の数も増えた。

##### (3) 継続支援研究地域運営協議会の設置

年2回(6月、3月)継続支援研究地域運営協議会を開催。個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムの活用の仕方、また、引継ぎシステムの構築の方向性について検討し、研究の方向性について共通理解を図り実践を推進することができた。

#### 5. 指定校における取組概要

##### ① 持続的な引継ぎシステムを指向した個別の教育支援計画等の作成方法等の研究

###### 【城山中学校】

6月に教育相談週間を実施し、新規作成者のリストアップを行った。個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムを活用し、タブレットに対象生徒のシートを作成した。1学期期末懇談会で保護者と個別の指導計画作成について確認を行い、夏休み中に個別の指導計画の入力を行った。9月の三者懇談会時に「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の内容をタブレットにより保護者と共有。「個別の教育支援移行計画」を作成・引継ぐことの同意を得る。3月に保護者への最終確認を行い、進路先との引継ぎ会を実施。また、年間(14回)を通じて、校内研修・情報交換会を実施し、個別の指導計画作成についての職員の共通理解を図った。

###### 【信楽中学校】

8月に個別の指導計画を作成するために、必要な生徒の実態把握のためのアセスメントについて、校内特別支援研修会を行った。また、高校への引継ぎが必要な事例について、学校間連携コーディネーターの巡回相談を通して、個別の指導計画作成における支援の手立てについての助言指導を受けた。

##### ② 進学前後における適切な引継ぎ内容及び時期等の研究

###### 【甲南高等学校】

3月新入生オリエンテーションで相談ブースを設け、高校生活への不安や心配事に対応。平成28年3月25日、平成27年度「甲賀地域の中学校卒業生にかかる個別支援情報の引継ぎ会」に出席。引継いだ事例を一覧表にまとめ、学年会で共通理解を図る。

4月の職員会議で全生徒の実態を周知。その後は、係による授業見学や情報収集を行った。夏休み前から夏休みにかけて、個別の指導計画の作成にあたった。特別支援教育についての職員研修を実施し、授業改善に取り組んだ。

#### 【信楽高等学校】

3月の入学許可予定者説明会において、発達や医療のことで相談がある保護者は、4月の制服購入日に保健室に寄ってもらうよう口頭で連絡。平成28年3月25日「平成27年度甲賀地域の中学校卒業生にかかる個別支援情報の引継ぎ会議」に高校から2名出席。引継ぎ情報をもとに、クラス編成の中で微調整を行った。特別支援教育コーディネーターが、引継ぎ書類をもとに校内支援対象一覧を作成。4月の職員会議で全職員に共通理解を図る。7月保護者懇談で支援の引継ぎのあった気になる生徒の保護者に対して教育相談担当、特別支援教育コーディネーターが教育相談を実施。2月チェックリストを作成し、3月進級確定後に今後の進路と支援について保護者と共有した。

#### ③児童生徒本人及び保護者の同意を得つつ、引継ぎを実施する体制の整備評価手法

3月に「甲賀地域の中学校卒業生にかかる個別の支援情報の引継ぎ会」を実施。早期から関係機関と連携を図った。1月に今まで引継ぎ実績のあった高校へ会議への出席依頼。2月各中学校から引継ぎ数についての報告を受け、2月末関係者会議で引継ぎ会の役割分担の確定。後在籍後への引継ぎ事例について情報共有を図った。コーディネーター情報共有会(年3回実施)で各校の取組を共有し、個別の指導計画の作成と引継ぎまでの流れを整理し、年間モデルを作成した。

#### ④学校間連携コーディネーター1名配置

その専門的な知見から、高校へ引継いだ事例についてのアセスメント(2名)を実施した。実態把握に対して、個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムにどのように反映させたらよいか、指導助言を受けた。

## 6. 今後の課題と対応

本事業を終えて、個別の指導計画の引継ぎと活用についてモデルスケジュールをまとめることができた。この流れをもとにモデル校で実践した引継ぎシステムを今後は全市に広げていけるよう働きかけることが今後の課題であると考え。その方法として、甲賀市教育支援委員会の中の移行期専門部会、特別支援コーディネーター連絡会等での啓発に努めていきたい。

個別の指導計画を保護者同意のもとに引継ぐためには、引継がれたことにより、支援が有効に働いているということが、本人にも保護者にも共感できることが大切である。中学校から高校へ支援を引継ぐためには、就学前からの支援が一貫して引継がれ、本人や保護者にその有効性が実感できなければ、同意はなかなか得られにくい。この個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムを有効に引継ぎ、システムの中で使うためには、就学前からの気づきと実態把握、そして合理的配慮をどうするのか保護者と話し合える関係を早期から築いていくことが、不可欠なため、甲賀市発達支援システムと連動させながら、持続的な取り組みのシステムを市内各保幼・小中学校へ発信させていきたい。

## 7. 指定校について

### 【前在籍校】

指定校名：甲賀市立城山中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数
通常の学級	174		5		140		4		163		5
特別支援学級	7		/		6		/		3		/
通級による指導 (対象者数)	0		/		0		/		0		/
	校長	教頭	教諭	養育教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	29	1	9	1	1	3	1	0	47

指定校名：甲賀市立信楽中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数
通常の学級	91		3		101		3		108		4
特別支援学級	3		/		4		/		2		/
通級による指導 (対象者数)	0		/		0		/		0		/
	校長	教頭	教諭	養育教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	18	1	9	1	1	2	1	0	35

### 【後在籍校】

指定校名：滋賀県立甲南高等学校											
課程	学科	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		生徒数	学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
全日制	総合学科	115	3	116	4	113	4	/		/	
定時制		/		/		/		/		/	
	校長	教頭	教諭	養育教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	29	1	14	1	4	0	1	3	55

※ALT：2週間に1日 スクールカウンセラー：月に1～2日 その他：実習教諭1 実習助手2等

指定校名：滋賀県立信楽高等学校											
課程	学科	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		生徒数	学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
全日制	総合学科	73	2	71	2	58	2	/		/	
定時制		/		/		/		/		/	
	校長	教頭	教諭	養育教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	17	1	8	0	6	1	0	0	35

※ALT：2週間に1日 スクールカウンセラー：月に3日 その他：実習助手等

## 8. 問い合わせ先

組織名：

- |             |                              |
|-------------|------------------------------|
| (1) 担当部署    | 甲賀市教育委員会事務局 学校教育課            |
| (2) 所在地     | 滋賀県甲賀市甲南町野田 810 番地           |
| (3) 電話番号    | 0748-86-8317                 |
| (4) FAX 番号  | 0748-86-8380                 |
| (5) メールアドレス | koka30101200@city.koka.lg.jp |